

(様式3)

目標達成計画

事業所名 グループホーム大空

作成日: 平成30年1月23日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	自己 1 外部 (1)	玄関や事務所には、いつでも確認できる様に運営理念を掲示している。職員間では共有できているが、利用者や家族への周知までは至っていない。	基本となる運営理念を職員間だけに止まらず、利用者や家族等に分かりやすく伝えていける工夫を考える。	法人理念を基本とした運営理念を毎月発行している大空便りを活用して、家族へ常に伝えるようにする。時には面会時に具体的な説明もできると良いと思う。利用者へお便りを大きく拡大し、見やすいようにホール内に掲示する。	3ヶ月
2	自己 34 外部 (12-2)	急変時や事故等を想定した訓練や研修は定期的には行っていない。マニュアルは整備され手順の確認は出来ている。	急変時や事故等、高齢者に起こりがちな内容を想定して、事故防止委員会で定期的な実践的な研修を行い、必要な時に行かせるように取り組む。	法人内の事故防止委員会を定期的で開催し、各事業所での事例や問題点等を共有し、解決に結びつけられるようにする。実践的な訓練を繰り返し行なえる様に毎年、研修会を行なう。(30年は8月に行なう予定)	12ヶ月
3	自己 54 外部 (20)	入居時には、本人の使い慣れた品や馴染みの物を家族へお願いして入れていただけているが、思うように進まない。	利用者が居心地よいと感じる環境はそれぞれ違うので、その人に合った居室の工夫を利用者や家族と職員が一緒に協力できる様に努める。	入居時の働きかけは継続していく。その後も利用者の希望や思いを常に把握し、居室に居ても落ち着ける様な環境作りに努める。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月